

7月18日

報いは非常に大きい
創世記15章1～6節

15:1 これらの出来事の後、【主】のことはが幻のうちにあブラムに臨み、こう仰せられた。「あブラムよ。恐れるな。わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きい。」

15:2 そこであブラムは申し上げた。「神、主よ。私に何をお与えになるのですか。私には子がありません。私の家の相続人は、あのダマスコのエリエゼルになるのでしょうか。」

15:3 さらに、アブラムは、「ご覧ください。あなたが子孫を私に下さらないので、私の家の奴隷が、私の跡取りになるでしょう」と申し上げた。

15:4 すると、【主】のことばが彼に臨み、こう仰せられた。「その者があなたの跡を継いではならない。ただ、あなた自身から生まれ出て来る者が、あなたの跡を継がなければならない。」

15:5 そして、彼を外に連れ出して仰せられた。
「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」さらに仰せられた。
「あなたの子孫はこのようになる。」

15:6 彼は【主】を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

今礼拝ではアブラハムの生涯と信仰を学んでいます。先々週は、ロトとその一族がエラムの王ケドルラオメルの上ドム攻略に巻き込まれて財産を奪われ、一族は捕虜となってバビロンの方に連行されて行きました。そのロトを318人の家来を率いてエラムの王ケドルラオメルを打ち破ってロトを奪還し、財産を奪い返しました。

この時瀝青の穴に隠れていたソドムの王がやって来て、戦利品はもらってもいいが捕虜となっていた人は私のものだから私に返してくれ。

アブラハムはこのソドムの王とはかかわるべきでないと考えて、捕虜を返すだけではなく戦利品のすべてを、ひも一本もらわずにすべてをソドムの王に返しました。

サレムの王メルキゼデクは、おそらくアブラハムがケドルラオメルと戦っている時、祭司としてとりなしの祈りを続けていた。アブラハム勝利と聞いてパンとぶどう酒をもって迎えました。アブラハムはやがて来て下さる救い主が助けてくれた、戦ってくれたと信じて、戦利品の10分の1をメルキゼデクにささげました。

ソドムの王とメルキゼデクはアブラハムを迎えに来ました。挨拶もありました。

助けられたロトは何をしていたのでしょうか。

アブラハムに対する感謝の言葉がありません。性懲りもせずにもまた、あの危険なソドムの近くに戻っています。

アブラハムの気持ちはいかがでしたでしょうか。なぜ必死に祈って命をかけてまでロトを助けたのか。

15:1 これらの出来事の後、【主】のことばが幻のうちにあブラムに臨み、こう仰せられた。「あブラムよ。恐れるな。わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きい。」

神様はアブラハムに
恐れるな
わたしはあなたの盾
報いは非常に大きい
と3つのことを語られました。

①恐れるな

アブラハムは恐れていました。恐れているアブラハムに「恐れるな」と語られました。

何を恐れていたのでしょうか。

なぜ恐れていたのでしょうか。

エラムの王ケドルラオメルの復讐

好戦的な王は必ず報復に大軍を率いてくると
いう恐怖。

慣れない戦争をした後の恐怖。

夢中で信仰に立って戦って大勝利をした。

その後の空虚感。

エリヤも450人のバアルの預言者、
400人のアシェラの預言者、
合計850人の敵と戦って大勝利を
しました。

その後、イゼベルという女王の復讐に
あった時、死を願うほどの弱きになってしまいまし
た。

アブラハムもロトを助けるために夢中で信仰で
戦って勝利をしたものの、
もともと軍人ではない。
ケドルラオメルの復讐を恐れていました。

②わたしはあなたの盾。

神様は恐れているアブラハムに
恐れるな、わたしはあなたの盾である
と言われました。

盾

詩篇で何度も何度も

主は私の盾

今日の週報 詩篇からの黙想詩篇28篇

主は私の力、私の盾

盾

身代わりに矢を受けてくれる

私たちの身代わりに刺されてくれる

イエス様は私たちの身代わりに刺されてくださった。
た。

ケドルラオメル戦において

主は盾となってくくださった。

詩篇91篇

91:1 いと高き方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。

91:2 私は【主】に申し上げよう。「わが避け所、わがとりで、私の信頼するわが神」と。

91:3 主は狩人のわなから、恐ろしい疫病から、あなたを救い出されるからである。91:4 主は、ご自分の羽で、あなたをおおわれる。あなたは、その翼の下に身を避ける。主の真実は、大盾であり、とりでである。

91:5 あなたは夜の恐怖も恐れず、昼に飛び来る矢も恐れない。91:6 また、暗やみに歩き回る疫病も、真昼に荒らす滅びをも。

91:7 千人が、あなたのかたわらに、万人が、あなたの右手に倒れても、それはあなたには、近づかない。91:8 あなたはただ、それを目にし、悪者への報いを見るだけである。91:9 それはあなたが私の避け所である【主】を、いと高き方を、あなたの住まいとしたからである。

③報いは非常に大きい

アブラハムは祈って祈って信仰によって
勝利をして、
ソドムの王には奴隷も戦利品も
すべてを返し
メルキゼデクには戦利品の10分の1を
ささげました。
せっかく助けたロトは元のソドム近辺の
町に帰って行きました。

ヘブロンに戻り、日常生活に戻った時、
いったいあの戦いは何だったのか。
どんな報いがあったのか、
どんな収穫があったのか、
どんな成果があったのか、
何もないむなしい労苦だったのか。

神様に導かれてこのカナンの地に来た。

ハランを出たのがアブラハム75歳、

それから10年の歳月が流れた。

子供のようにかわいがっていた口トも

いざこざを起こし、別れて行き、

捕虜になったのを助けたのにまた元の

所に戻って行った。

65歳であったサラも10年たって

75歳になった。先行き不安を覚えているアブラ

ハムに主は語られた。

神様に従って生まれ故郷、父の家を
離れて約束の地に来た。

10年間、忠実に祈り、祭壇を築き、
献げものを献げてきた。

しかし、子供が与えられないまま
月日が流れて行く。

あなたの子孫を地のちりのように増やす
と言われた約束はいったいどうなっているのです
か。

ロトが離れて行ったのなら
跡取りはダマスコのエリエゼルなのですか。

15:5 そして、彼を外に連れ出して仰せられた。
「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができる
なら、それを数えなさい。」さらに仰せられた。
「あなたの子孫はこのようになる。」

神様はアブラハムに星を見せられた。

あなたの子孫は、このようになる。

星という具体的なものを見せながら、

子孫はこのようになる

と約束されました。

毎晩星空を見るたびに神様の約束を

確信していくように、忘れないように

星を見せて約束をされました。

15:6 彼は【主】を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

信じた。

アーメンという言葉です。

アブラハムは「アーメン」といった。

アーメンとは
真実という意味。
神様のことばに
アーメン、真実です、真実と信じます
と告白しています。

このアブラハムのアーメン
に

「主はそれを彼の義と認められた。」
と神様は語っておられます。

義とは正しという意味です。
神様はアブラハムに
あなたのアーメンという信仰は
間違っていない、
正しい決断、ただし信仰です
と言われました。

今日も神様のなされること、
神様が私たちの人生を導いてくださること、
アーメンです。真実ですと告白しましょう。

このアーメンという告白は
間違っていない、
正しい、
義の道ですと
主は語っていただきます。

祈り